

評価結果の反映状況

中 退 共

1.運用の目標

評価報告書における指摘事項	指摘事項に対する対応等	対応時期
平成23年度 累積欠損金については、減少しているものの、今後ともその早期解消に向けて努力することが期待される。	資産運用に当たっては、中退法等に則り、安全かつ効率を基本として実施し、また、中退共制度の健全性の向上に必要な収益を長期的に確保するため、運用の基本方針に定めた、最適な資産の組み合わせである基本ポートフォリオに沿った資産配分を維持し、運用を行った。 平成24年度の収益状況（費用控除後）は、自家運用で295億円、委託運用で2296億円、全体で2590億円を計上し、決算運用利回りは6.89%となった。その結果、平成24年度決算において当期総利益は2279億円を計上できたことで、平成23年度末の累積欠損金1741億円を解消した。 これに因り目標としていた累積欠損金の解消は、計画の目標年限を5年前倒しして達成した。	平成24年度

林 退 共

1.運用の目標

評価報告書における指摘事項	指摘事項に対する対応等	対応時期
平成23年度 累積欠損金については、減少しているものの、今後ともその早期解消に向けて努力することが期待される。	引き続き、累積欠損金の解消に向け、平成17年度に策定した「累積欠損金解消計画」に基づき、安全かつ効率を基本として、基本ポートフォリオに沿った資産配分を維持して運用を実施した結果、平成24年度末の累積欠損金は、前年度末と比較し2億8百万円減少し、10億9千5百万円となった。	平成24年度